




他県調査の概要

参考資料2

開催テーマ

開催県 名称 開催日	山口県 第63回全国植樹祭 平成24年5月27日(日)	鳥取県 第64回全国植樹祭 平成25年5月26日(日)	新潟県(予定) 第65回全国植樹祭 平成26年6月1日(日)
開催 テーマ	「育むいのち 彩りの森 光る 海 碧い空 燦めきの発信」 ○テーマの決定: 平成21年10月 ○「いのち」をキーワードとして地球環境に果たす森林や緑化の新しい展開を発展していく。	「感じよう 森のめぐみと 緑 の豊かさ」 ○テーマの決定: 平成23年4月 ○森のめぐみや緑を守り育ててくれた先人への感謝の気持ちと、緑の豊かさを次世代に継承使用とするメッセージを込めた。	「未来へつなぐ森の力～復興 から創造へ～」 ○テーマの決定: 平成23年11月 ○中越大震災の際に全国からいただいたご支援に感謝するとともに、「森の力」を未来へ引き継いで行く。
シンボル マーク	 愛称: やまりん	 愛称: トッキーノ	 マークのみで応援キャラクターには既存のものを使用


開催方針・理念

開催県 名称	山口県 第63回全国植樹祭	鳥取県 第64回全国植樹祭	新潟県 第65回全国植樹祭
開催 方針	「やまぐち森林づくりビジョン」に基づき、百年先のやまぐちの森林の姿を見据え、県民との協働による健全で豊かな森林づくりを進める。	森林の機能を復活させるために、木材資源の循環利用を図りながら、県民全体で進めている森林づくりモデル林の整備を行うとともに「持続可能な森林づくり」を始める契機として開催する。	森林(もり)づくりや県民運動などの緑化活動の取組を全国に発信し、さらに発展させる絶好の契機として、また、中越大震災で全国からいただいたご支援に感謝し、復興をアピールする機会として開催する。
開催 理念	本県独自の森林づくりの取り組みや、三方が海に開かれた県土の特徴を活かした海・川・森林のつながり、海岸林の創生など新たな取り組みを県内外に発信し、わが国の新たな森林(もり)づくりや緑化活動に資する。	森林の果たすべき役割が益々重要となっていることから、環境先進県「とっとり」の活動を県内外に発信し、今後更に森林と親しみながら共生していく社会の実現を目指す。	森林と人、そして中山間地域と都市のつながりが、森林と地域の復興の力になることを全国へ発信するとともに、緑豊かなふるさと・新潟を未来へ引き継ぐため、「森林から始まる循環型社会」の実現を目指す。


開催規模

開催県 名称	山口県 第63回全国植樹祭	鳥取県 第64回全国植樹祭	新潟県 第65回全国植樹祭
参加者 数	23,000人 県外招待者:1,500人 県内参加者:11,500人 (招待:8,500人 協力3,500人) 関連行事植樹者10,000人	7,000人 県外招待者:1,500人 県内参加者:5,500人 (招待:3,500人 協力2,000人)	3,500人 県外招待者:1,000人 県内招待者:2,500人 (招待:1,800人 協力700人)
総事業 費	7億7,300万円 (内訳) 一般財源 7億2,200万円 宝くじ財源 4,500万円 協賛金その他 100万円 緑化機構 500万円	8億5,600万円 (内訳) 一般財源 8億3,000万円 協賛金その他 2,100万円 緑化機構 500万円	2億9,000万円 (内訳) 一般財源 2億6,700万円 宝くじ財源 400万円 協賛金その他 2,000万円 緑化機構 500万円 緊急雇用 100万円

式典会場

開催県 名称	山口県 第63回全国植樹祭	鳥取県 第64回全国植樹祭	新潟県 第65回全国植樹祭
式典 会場	山口市 山口きらら博記念公園 ○平成13年に「ジャパンエキスポ・山口きらら博」が開催され、翌年に「山口きらら博記念公園」としてオープンしており、駐車場や荒天時会場も併設している。	南部町 とっとり花回廊 ○平成11年に県立のフラワーパークとしてオープン、自然の起伏や森林を活かした広大な自然環境の中にある公園であり、荒天会場からのアプローチが良い。	長岡市 ハイブ長岡 長岡リリックホール ○大震災からの復興の中心施設であることや既存施設を使用するため、新たな整備を必要としない。
会場等 の面積	式典会場 2.8ha 駐車場 4.5ha 交流等広場 2.0ha	式典会場 1.4ha 駐車場 2.0ha 交流等広場 1.6ha	屋内会場 4,000m ² 駐車場 1.0ha 交流等広場 1.3ha
会場の 様子	 山口市:きらら博記念公園 スポーツ広場	 南部町:とっとり花回廊	 長岡市:ハイブ長岡

植樹会場

開催県 名称	山口県 第63回全国植樹祭	鳥取県 第64回全国植樹祭	新潟県 第65回全国植樹祭
植樹 会場	山口きらら博記念公園 きらら浜北エリア 招待者1.5ha 自由(一般)2.5ha 計4.0ha クロマツ、ウバメガシ、クスノキ 等35種 自由植栽含め 28,000本	2会場(伯耆町 とっとり花回廊 いやしの森、江府町 奥大山鏡 ヶ成高原) 伯耆町 3.4ha 江府町 0.4ha 計3.8ha 伯耆町 コナラ等24種、4,500本 江府町 ミスナラ等24種、500本	4会場(長岡市陽光台、小千谷 市山本、十日町市八箇、魚沼 市堀之内) 長岡0.4ha、小千谷0.2ha 魚沼0.3ha、十日町0.3ha 計1.2ha コナラ、ブナ、ケヤキ等15種 6,898本
植樹 会場の 様子	 山口市「山口きらら博記念公園」	 伯耆町「とっとり花回廊」	

委員会等の設置・基本構想等

開催県 名称	山口県 第63回全国植樹祭	鳥取県 第64回全国植樹祭	新潟県 第65回全国植樹祭
委員会 等	○準備委員会 平成21年10月設置 ○実行委員会 平成22年8月設置	○準備委員会 平成21年7月設置 ○実行委員会 平成22年6月設置	○実行委員会 平成23年6月設置
基本 構想等	○基本構想 平成22年3月策定 ○基本計画 平成23年2月策定 ○実施計画 平成24年2月策定	○基本構想 平成23年1月策定 ○基本計画 平成24年2月策定 ○実施計画 平成25年2月策定	○基本構想 平成23年11月策定 ○基本計画 平成25年3月策定 ○実施計画 平成26年2月策定

全国林業後継者大会

先催県の開催状況

大会	第40回全国林業後継者大会	第41回全国林業後継者大会	第42回全国林業後継者大会	第43回全国林業後継者大会
項目	平成23年 和歌山県	平成24年 山口県	平成25年 鳥取県	平成26年 新潟県
会場	ガーデンホテルハナヨ (田辺市)	ホテルニュータナカ (山口市)	三朝町総合文化ホール (三朝町)	アオーレ長岡 (長岡市)
開催(予定)年月日	平成23年5月21日(土)	平成24年5月26日(土)	平成25年5月25日(土)	(平成26年5月31日(土))
開催テーマ	未来へ育てよう 森と恵みと担う力	森林・林業の再生に向けて～人・技・仕組み～	つなげよう 森の力 森を育てるあなたの手	人のつながり 森林(もりの)力で 希望の芽を育てよう
開催趣旨	全国の林業後継者が一堂に会し、健全な森林づくりの重要性の再認識や森林・林業・山村の果たしている役割、重要性を和歌山から発信し、国民全体で元気な森を未来へ引き継いでいく。	健全で豊かな森林を次世代に引き継ぐため、全国の森林・林業関係者が一堂に会して、これからの森林づくりや森林・林業の再生について意見を交わし、県内外に発信する。	持続可能な森林づくりの担い手としての役割や林業の楽しさについて意見を交わし、輝ける林業後継者の姿を県内外に情報発信する。	第65回全国植樹祭の関連事業として、全国の森林・林業関係者が一堂に会し、林業や後継者の役割について語り合う。
開催規模	県外: 190名 県内: 310名	約600人	県外: 150名 県内: 320名	県外: 150名 県内: 300名

全国植樹祭イベント

<PR活動例> 山口県 (H24開催県)



★第37回生協祭り

毎年3月末の土日に開催されている生協祭りにおいて、ブースを出店しPR。マスコットキャラクター「やまりん」のぬり絵コーナーや風船・リーフレットの配布。



★スピードダウンを呼びかける日キャンペーン

山口県防府市にある検問所で、幼稚園児とともに検問を行い、ドライバーへスピードダウンを呼びかけるとともに全国植樹祭グッズを配布。

(写真: 山口県ホームページより)

全国植樹祭イベント

<イベント例> 新潟県（H26開催県）



（写真：新潟県ホームページより）

第65回全国植樹祭イベント～森のチカラ・つくる未来～

平成25年6月16日（日）に天皇陛下のお手植え会場となる長岡市川口地域において開催。

代表者による記念植樹のほか、緑の少年団による合唱やホルンの演奏、応援隊長を務めるお笑い芸人やマスコットキャラクターとのじゃんけん大会などが行われた。

苗木のスクールステイ・ホームステイ

○全国植樹祭で植樹する苗木の一部を県内の小・中学校や保育園などで育ててもらうことで、森林づくり活動への理解や関心を深めてもらうための取組。

○協力していただく学校に対し、苗木育成のためのキットとして、竹や木製のポットを寄贈する例もある。

○また、学校だけでなく、各種団体へも苗木や種子を預ける場合、「ホームステイ」と表現することもある。

近年の実施状況

開催年度	開催県	参加校(団体)数	苗木(種子)配布数
H24	山口県	71団体ほか (内小学校9校)	約4,900本(苗木)
H25	鳥取県	273団体 (内小学校37校)	約4,300本(苗木)
H26	新潟県	小学校13校	約700本(苗木)

苗木のスクールステイ・ホームステイ

例) 山口県の様子(みどりのホームステイ)



苗木のホームステイ

平成22年9月21日～10月29日の期間に「苗木のホームステイ」に協力してくれる県内の学校、会社、自治体等を募集。苗木は竹のポットに植えて配布された。



ドングリのホームステイ

平成22年10月2日より県内の各種イベントにおいて、参加者にドングリと竹ポットが配布し育ててもらった。

(写真: 山口県ホームページより)

苗木のスクールステイ・ホームステイ

例) 山口県の様子(みどりのホームステイ)



苗木の運搬・植樹

(社)山口県トラック協会の協力で、幼稚園や保育園、小学校、福祉施設、企業等71団体によって育てられた苗木が植樹会場である「山口きらら浜記念公園」へ運ばれた。苗木は植樹祭当日を含む4日間の「自由植樹期間」に、多くの参加者によって植えられた。

(写真: 山口県ホームページより)

苗木のスクールステイ・ホームステイ

例) 鳥取県の様子



苗木引渡式

平成23年12月3日に苗木引渡式が行われ、県内の緑の少年団へ平井伸治鳥取県知事から、シラカシ、アラカシの苗木が贈呈された。



各学校にて苗木の育成

苗木は子供たちによって水やりなどの管理・育成がなされる。

(写真: 鳥取県ホームページより)

苗木のスクールステイ・ホームステイ

例) 鳥取県の様子



ステイ苗木の出発式

平成25年5月23日に東部総合事務所で苗木出発式が行われ、(一社)鳥取県トラック協会の協力により植樹会場である「とっとり花回廊」へ苗木が運ばれた。

(写真: 鳥取県ホームページより)

鳥取県における企業等の取組(協賛等)内容

鳥取県では全国植樹祭の開催に向け、協賛企業を募集した。

<依頼方法>

- ホームページで協賛企業の募集(第64回全国植樹祭協賛要綱による)
- 森林づくり関連企業への資料送付や訪問(特に東京に本社のある企業への訪問説明等)

<具体的な協賛の内容>

- (1)資金協賛 大会行事の実施に要する資金の提供
※1口1万円で、協賛金額によって特典のランクが変わる
- (2)物品協賛 大会行事の実施に要する物品の提供
※協賛物品はのぼり、参加者用帽子等、実行委員会と協議して決定



<その他>

協賛企業等は資金、物品の提供のほか、海岸林の整備や全国植樹祭プレイイベント等の森林づくり活動に積極的に参加する。

鳥取県における企業等の取組(協賛等)内容



参加企業等
県内企業や県内に支店のある企業、団体等42社

○協賛金・協賛物品の提供(実績)	その他
・資金協賛	○海岸林の整備
24社 22,849,265円	○全国植樹祭プレイイベントへの参加
・物品協賛	等
18社 6,650,000円	

企業等から実行委員会へ

実行委員会から企業等へ

- 協賛企業名をHPに掲載(金額順)
- 各種特典(原則、50万円以上で感謝状、100万円以上で知事感謝状と代表1名を大会特別招待席・前日レセプション(天皇陛下ご臨席)への招待)
- 記念誌への掲載、礼状の送付

○協賛金の使途
・大会開催経費
・事前PR



第64回全国植樹祭鳥取県実行委員会